



21世紀文明研究セミナー

あの日1.17に芽吹き、いま咲き始める新しい知の花園へ

財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構の研究結果やHAT神戸に集積する国際関係機関等、知的ネットワークの総力を地域へ還元するため、当研究機構の骨太の研究テーマとともに、多文化共生や防災支援、保健・医療、地球環境などの平和の技術に関して、主として、高度で専門的な知識を求め一般県民を対象にした「21世紀文明研究セミナー」を開催します。

同一コースの3分の2以上の講座を受講された方には、修了証を交付いたします。

前期講座:9月～11月・後期講座:12月～2月(※後期講座は改めて募集します)
※講義時間 A 15:30～17:00 B 18:30～20:00

前期 平和の技術(防災支援)

※講義時間 B 18:30～20:00

阪神・淡路大震災の被災地である神戸の経験と教訓が日本や海外にどのように伝えられ、また生かされているのかについて学習するとともに、今後、神戸をはじめ西日本大きな影響を与えると予想される東南海・南海地震についての理解を深める。

9月20日(木)	越山 健治 (人と防災未来センター 研究主幹) テーマ 被災社会の様相 一仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に
9月27日(木)	紅谷 昇平 (人と防災未来センター 研究員) テーマ 産業の復興、企業防災
10月4日(木)	原田 賢治 (人と防災未来センター 主任研究員) テーマ 地震、津波の発生メカニズムとその対策
10月11日(木)	近藤 伸也 (人と防災未来センター 主任研究員) テーマ 中山間地の防災対策
10月25日(木)	近藤 民代 (人と防災未来センター 主任研究員) テーマ アメリカの災害対応 一ハリケーン・カトリーナ災害を事例として
11月1日(木)	細川 裕子 (被災地NGO協同センター職員、補助者2名:神戸大学学生、神戸学院大学学生) テーマ 神戸発の被災地支援 一能登半島地震被災地での取り組み
11月8日(木)	安富 信 (読売新聞大阪本社編集委員 人と防災未来センターリサーチフェロー) テーマ 災害報道の現状と課題 一災害時のマスメディアの果たす役割
11月15日(木)	照本 清峰 (人と防災未来センター 主任研究員) テーマ 台湾々々地震からの復興 一台湾の防災対策、復興対策
11月22日(木)	平山 修久 (人と防災未来センター 主任研究員) テーマ 研究者と実務者の協働で進める東南海・南海地震対策 一大都市大震災被害軽減化プロジェクトの一環
11月29日(木)	河田 恵昭 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター長) テーマ 防災分野の国際貢献について

前期 平和の技術(環境)

共催:財団法人 ひょうご環境創造協会

※講義時間 A 15:30～17:00

G8環境大臣会合が、来年度、兵庫県神戸市内で開催される。温暖化、生物多様性、3R(兵庫県は5Rに取り組んでいる。)が主要なテーマとなる。そこでこれらに照準をあてて、私たちの日常生活や仕事・産業のあり方を点検し、環境にできるだけ負荷を与えないライフスタイル、環境マインドな産業や街づくりをしていくための方策を、環境経済、もったいない思想、技術国ドイツ人との環境意識の比較などの観点から考察し、セミナー受講者との討議を行う中で、自らが環境マインドを持った生活をしていくための何をすればいいのかを考えるとともに、社会提案、国内外での環境ボランティア活動、など社会への動きかけができる市民の形成を目標とする。

9月19日(水)	中野 加都子 (神戸山手大学 人文学部環境文化学科 教授) テーマ 日本型持続可能性実現のために
9月26日(水)	金澤 洋一 (神戸大学大学院 自然科学研究科 教授) テーマ 里山の役割とその保全
10月3日(水)	中嶋 國勝 (社団法人 瀬戸内海環境保全協会 常務理事) テーマ 瀬戸内海の再生に向けて
10月10日(水)	カールハインツ・ファイヤヘルト (神戸山手大学 人文学部環境文化学科 教授) テーマ 豊かさや環境 一日本とドイツの比較から
10月17日(水)	郡島 孝 (同志社大学 経済学部 教授 (IGES「産業と持続可能社会プロジェクト」プロジェクトリーダー代行)) テーマ 環境と経済は両立可能か
10月24日(水)	中瀬 勲 (兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授 (兵庫県環境審議会委員)) テーマ 都市における緑の創出
10月31日(水)	福島 徹 (兵庫県立大学 環境人間学部 教授) テーマ 環境共生型の街づくり
11月7日(水)	北山 兼弘 (京都大学 生態学研究センター 教授) テーマ 熱帯林における生物多様性保護と温暖化ガス削減の両立を目指した取り組み
11月14日(水)	真継 博 ((財)ひょうご環境創造協会 専務理事) テーマ 温暖化防止に向けた兵庫県における取り組みの現状と今後
11月21日(水)	川井 浩史 (神戸大学 内海環境教育研究センター長(財)国際エメックスセンター科学政策委員、瀬戸内海研究会企画委員) テーマ 海藻から見た海の環境とその保全 一私たちにできること
11月28日(水)	眞鍋 武彦 (財団法人 国際エメックスセンター技術アドバイザー) テーマ 海の環境と利用 一水産の課題より

前期 特別講座(芸術関連)

※講義時間 A 15:30～17:00

震災後文化復興のシンボルとしてHAT神戸に建設された兵庫県立美術館を例に引きながら、大きな変動の渦中にある美術館を、社会は美術館に何を求めているのか、今美術館はどのように変わろうとしているのか、美術館が社会に果たすべき役割は何かを、6回の講座を通して現場からの声をお届けします。

10月10日(水)	中原 佑介 (兵庫県立美術館 館長) テーマ 美術・美術館をめぐる諸問題(仮題)
-----------	---

10月17日(水)	越智 裕二郎 (兵庫県立美術館 館長補佐(企画・学芸部門マネージャー)) テーマ 県立美術館の成り立ちと今、美術館は何か問われているのか
10月24日(水)	服部 正 (兵庫県立美術館 学芸員) テーマ 美術と福祉
10月31日(水)	岡本 弘毅 (兵庫県立美術館 学芸員) テーマ 美術館と国際交流
11月7日(水)	河崎 晃一 (兵庫県立美術館 課長(常設展・コレクション収集管理グループリーダー)) テーマ 美術館と国際交流「及び美術館と地域」
11月14日(水)	田中 千秋 (兵庫県立美術館 課長(保存修復グループリーダー)) テーマ 美術館と修復(この講義の開催場所は県立美術館レクチャールームです。)

後期 Hem21 研究公開講座

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構では、近代文明のもつ二つの基本課題を中心に調査研究を行っています。科学技術文明が生んだ近代都市の持つ脆弱性の克服という「安全・安心なまちづくり」と、近代文明の基本的な考え方である個人中心主義の欠陥の是正という「共生社会の実現」です。昨年度は、各研究所・研究部・センターの長が抱負を交え研究の方向性を講義しましたが、今年度は、それぞれの研究員を中心に進行役も配して、第1回目の講座では20世紀文明全般の課題を発表し、その後の3回の講座は「安全・安心なまちづくり」に関して、また、後半の4回の講座は「共生社会の実現」に関して、各研究内容・成果をわかりやすく講義します。

12月19日(水)	村上 友章 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構主任研究員、大阪市立大学社会学部非常勤講師) 高松 淳也 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究員、神戸大学大学院法学研究科博士後期課程) テーマ 21世紀文明を考える
1月16日(水)	山崎 亮 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所主任研究員、京都造形芸術大学、近畿大学、大阪工業技術専門学校非常勤講師) 石田 祐 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所研究員) 入江 寿大 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構安全安心社会研究所研究員、京都大学大学院法学研究科博士課程) テーマ 安全安心研究の現在(いま)
1月23日(水)	越山 健治 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター研究主幹) テーマ 防災から減災へ
1月30日(水)	加藤 寛 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構こころのケアセンター副センター長兼研究部長) テーマ 災害とこころのケア
2月6日(水)	山本 匡毅 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構地域政策研究所主任研究員) テーマ 自立型地域社会の構築に向けたコミュニティ政策のあり方
2月13日(水)	村上 寿来 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構長寿社会政策研究所主任研究員) テーマ 人口減少社会における世代間分担のあり方、高齢社会の将来展望
2月20日(水)	二階堂 裕子 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構少子・家庭政策研究所主任研究員、帝塚山学院大学文学部、関西学院大学社会学部非常勤講師) テーマ 新しい父親の役割を考える
2月27日(水)	竹沢 泰子 ((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究部主任研究員、京都大学人文科学研究所教授) テーマ 多文化共生社会の実現に向けて

後期 **平和の技術(多文化共生社会)** 共催:神戸大学国際文化学研究所 異文化研究交流センター ※講義時間 A 15:30~17:00

本コース「多文化共生社会」では、現代社会における重要な課題のひとつである「多文化共生」の問題について、その現状と問題点を把握し、わたしたちの日常の社会生活、地域社会、企業活動など身近な問題として考えていくことを目的とします。
 多文化共生の問題は、いわば今日の世界における「未完のプロジェクト」であり、阪神・淡路大震災を契機に、多文化共生の問題について積極的に取り組んできた神戸という場所から考える事は大きな意義があります。また、グローバル化が進化する現代の世界において、人の移動にともなう文化の摩擦と葛藤は、多くの社会の共通の課題であり、日本社会の問題というだけでなく、広い国際的視野が求められる課題です。
 講義の中では、多文化共生の現状と問題点を概観し、コリアン、フィリピン、チャイニーズなどの具体的な事例を取り上げ、日本における多文化状況の現状について考えます。その上で、また、多文化共生問題についてさまざまな議論が積み重ねられてきたカナダ、オーストラリア、アメリカ合衆国、ヨーロッパの現状と問題点との比較検討を試み、今後の課題について考えていきたいと思ひます。

12月11日(火) **岡田 浩樹** (神戸大学大学院 国際文化研究科 教授(東アジア研究・文化人類学))
テーマ 日本社会における多文化共生の現状と問題

12月18日(火) **二階堂 祐子** (21世紀文明研究機構 常勤研究員(社会学))
テーマ 日本社会の多文化化と在日コリアンの現在

12月25日(火) **陳 於華(予定)** (関西大学 非常勤講師)
テーマ 増大する新来中国人のコミュニティ(交渉中もしくは陳天爵・国立民族学博物館准教授)日程との入れ替えあり。

1月8日(火) **野津 隆志** (兵庫県立大学 経済学部 教授(教育学))
テーマ 在日外国人支援と多文化共生ネットワーク

1月15日(火) **首藤 明和(内諾:日程調整中)** (兵庫教育大学大学院学校教育研究科 准教授(比較社会学))
テーマ カナダの多文化主義と中国系移民

1月22日(火) **高畑 幸** (広島国際学院大学 現代社会学部 准教授(社会学))
テーマ 在日フィリピン人のコミュニティと現状

1月29日(火) **鈴木 清史** (帝塚山学院大学 文学部 教授(文化人類学))
テーマ オーストラリアの多文化主義とアポリジニー

2月5日(火) **坂井 一成** (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(国際関係論))
テーマ 多文化共生を促すヨーロッパの国際的取組み

2月12日(火) **坂井 一成** (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(国際関係論))
テーマ 変容するヨーロッパ民主主義と多文化共生に向けての課題

2月19日(火) **安岡 正晴** (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(アメリカ政治論))
テーマ 多文化社会アメリカの理念と実像(1)一人種・民族差別撤廃の戦い

2月26日(火) **安岡 正晴** (神戸大学大学院 国際文化学研究所 准教授(アメリカ政治論))
テーマ 多文化社会アメリカの理念と実像(2)社会的少数派の権利と共生の模索

後期 **平和の技術(保健・医療)** 共催:WHO健康開発総合研究センター(WHO神戸センター) 財団法人 先端医療振興財団 ※講義時間 A 15:30~17:00

保健医療の動向:グローバル化のなかの公衆衛生・予防医学など個人や集団を取り巻く様々な取り組み、そして医療の未来像
 目的:グローバル化がすすむなか、様々な健康に関わる公衆衛生問題が取り上げられてきています。健康増進にかかわるこれらいくつかの問題を取り上げることで、健康問題に取り組む国際的また地域医療における活動を紹介します。また、先端医療の発展と可能性について未来を展望する。

12月4日(火) **岩尾 聡一郎** (WHO神戸センター 所長)
テーマ グローバルな視点から見た公衆衛生

12月11日(火) **ジュスタシオ・ラピタン** (WHO神戸センター 都市化と健康危機管理プログラム)
テーマ 鳥インフルエンザ等の感染症対策に関するWHOの取り組み

12月18日(火) **森口 育子** (兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授)
テーマ 国際看護と地域看護の公衆衛生分野における貢献、展望

1月8日(火) **小澤 修一** (兵庫県災害医療センター長)
テーマ 災害医療

1月15日(火) **平井 みどり** (神戸大学大学院医学研究科教授)
テーマ 健康増進のアプローチ(1):サプリメントと健康

1月22日(火) **梶原 苗美** (神戸女子大学家政学部教授)
テーマ 健康増進のアプローチ(2):食生活と健康

1月29日(火) **阿岸 祐幸** (北海道大学名誉教授)
テーマ 健康増進のアプローチ(3):温泉医学と健康保養地

2月5日(火) **藺 潤** (西宮市保健所長)
テーマ 健康増進のアプローチ(4):タバコと健康

2月12日(火) **川真田 伸** (先端医療振興財団先端医療センター研究所専門役)
テーマ 医療分野における未来の取り組み(1):循環器領域における再生医療

2月19日(火) **馬場 俊輔** (先端医療振興財団先端医療センター主任研究員)
テーマ 医療分野における未来の取り組み(2):口腔領域における再生医療

2月26日(火) **西川 伸一** (理化学研究所CDB副センター長)
テーマ 医療分野における未来の取り組み(3):神戸クラスターの展望

平成19年度21世紀文明研究セミナーカリキュラム委員会委員名簿

氏名	所属・職
五百旗頭 眞	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査本部長
岩尾 聡一郎	WHO神戸センター 所長
岡田 浩樹	神戸大学大学院 国際文化学研究所 教授
河田 恵昭	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター長
鈴木 胖	兵庫県立大学副学長・産学連携センター長
須藤 健一	汎太平洋フォーラム 理事長
崎山 昌廣	(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構学術交流本部長

※アイエオ順

前期講座
お問い合わせ
申し込み先

※後期(12月~2月)は
改めて募集します。

財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流本部

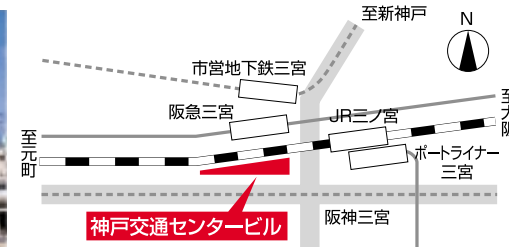
〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-10-1
 神戸交通センタービル4F 兵庫県立神戸学習プラザ内
TEL.078-327-4380 (代) FAX.078-392-0071
 E-mail 21_sem@hyogo-al.gr.jp

※日程や各講座の詳細は、以下のホームページをご参照ください。
<http://www.hemri21.jp/>

開講場所

兵庫県立神戸学習プラザ

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-10-1 神戸交通センタービル4F
TEL.078-392-0660 FAX.078-392-0071



お勤め帰りにも便利なところです。JR三ノ宮駅、阪急三宮駅、地下鉄三宮駅より徒歩1分

21世紀 文明研究セミナー

あの日1.17に芽吹き、いま咲き始める
新しい知の花園へ。

前期講座(9月~11月) 受講生募集

※後期(12月~3月)は改めて募集します。

コース名

- **平和の技術・防災支援**
9月20日~11月29日
- **平和の技術・環境**
共催:財団法人 ひょうご環境創造協会
9月19日~11月28日
- **「HAT HOT発信」特別講座(芸術関連)**
10月10日~11月14日

- **Hem21研究公開講座**
12月19日~2月27日
- **平和の技術・多文化共生社会**
共催:神戸大学国際文化学研究所 異文化研究交流センター
12月11日~2月26日
- **平和の技術・保健・医療**
共催:WHO健康開発総合研究センター (WHO神戸センター)
財団法人 先端医療振興財団
12月4日~2月26日

募集人員

各講座 40名程度

先着順

主催

財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構
<http://www.hemri21.jp/>

受講料
無料

平成19年度 21世紀文明研究セミナー 前期受講申込書

コース名(時間帯)		講座	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11					
1	平和の技術・防災支援 (18:30~20:00)	月日	9/20(木)	9/27(木)	10/4(木)	10/11(木)	10/25(木)	11/1(木)	11/8(木)	11/15(木)	11/22(木)	11/29(木)						
		講師名	人防C・越山	人防C・紅谷	人防C・原田	人防C・近藤(伸)	人防C・近藤(民)	NGO・細川	人防C・安富	人防C・照本	人防C・平山	人防C・河田						
		講演テーマ	被災社会の様相 -仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に-	産業の復興、企業 防災	地震、津波の発生 メカニズムとその 対策	中山間地の防災 対策	アメリカの災害対応 -ハリケーン・カトリナ 災害を事例として-	神戸発の被災地支援 ~能登半島地震被災地 での取り組み~	災害報道の現状と課題 ~災害時のマスメディア の果たす役割~	台湾集々地震からの 復興~台湾の防災対策、 復興対策~	研究者と実務者の協働で進 める東南海・南海地震対策 ~大都市大震災被害軽減化 プロジェクトの一筋~	防災分野の国際 貢献について						
受講希望																		
2	平和の技術・環境 (15:30~17:00)	月日	9/19(水)	9/26(水)	10/3(水)	10/10(水)	10/17(水)	10/24(水)	10/31(水)	11/7(水)	11/14(水)	11/21(水)	11/28(水)					
		講師名	神戸山手・中野	神戸大学・金澤	瀬戸内海環境保全・中嶋	新緑か-緑のカーブ	同志社GES・郡菰	兵庫県立大・中瀬	兵庫県立大・福島	京都大・北山	ひょうご環境・真継	神大・川井	国際メックス・眞鍋					
		講演テーマ	日本型持続可能 性実現のために	里山の役割とその 保全	瀬戸内海の再生 に向けて	豊かさや環境 ~日本とドイツの 比較から~	環境と経済は両 立可能か	都市における緑 の創出	環境共生型の街 づくり	地球温暖化と 生態系の変化	温暖化防止に向けた 兵庫県における取り 組みの現状と今後	海藻から見た 海の環境とその 保全	海の環境と利用 -水産の課題より-					
受講希望																		
3	「HAT HOT発信」特別講座 (芸術関連) (15:30~17:00)	月日	10/10(水)	10/17(水)	10/24(水)	10/31(水)	11/7(水)	11/14(水)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>ご希望の講座に ○印を入れて下さい。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>9/20(木)</td> <td>人防C・越山</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">記入例 </td> </tr> <tr> <td>被災社会の様相 -仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に-</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> </div>					9/20(木)	人防C・越山	記入例 	被災社会の様相 -仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に-	<input type="checkbox"/>
		9/20(木)	人防C・越山	記入例 														
		被災社会の様相 -仮設住宅、復興公営住宅の暮らしを中心に-	<input type="checkbox"/>															
講師名	兵庫県立美術館・中原	兵庫県立美術館・越智	兵庫県立美術館・服部	兵庫県立美術館・岡本	兵庫県立美術館・河崎	兵庫県立美術館・田中												
講演テーマ	美術・美術館を めぐる諸問題	県立美術館の成り立 ちと今、美術館は何 が問われているのか	美術と福祉	美術館と国際 交流	美術館と国際交 流Ⅱ及び美術館 と地域	美術館と修復 (この講座の開催場所は県立 美術館のチャームです。)												
受講希望																		

ふりがな		年 齢		歳
氏 名		生 別		男・女
現住所	〒 _____			
	TEL () _____	FAX () _____		
ご職業等	該当する項目に✓印をお付け下さい。 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 ()			

本申込書を下記まで、郵送またはFAXでお申し込み下さい。

財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構

学術交流本部

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1丁目10番1号(神戸交通センタービル4階)

TEL : 078-327-4380(代表) FAX : **078-392-0071**

Eメール : 21sem@hyogo-al.gr.jp
U R L : http://www.hemri21.jp/

日程や各講座の詳細は、上記ホームページをご参照下さい。

※先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。
※本申込書を事務局に送付していただいた後「受講者決定書」を送付致します。